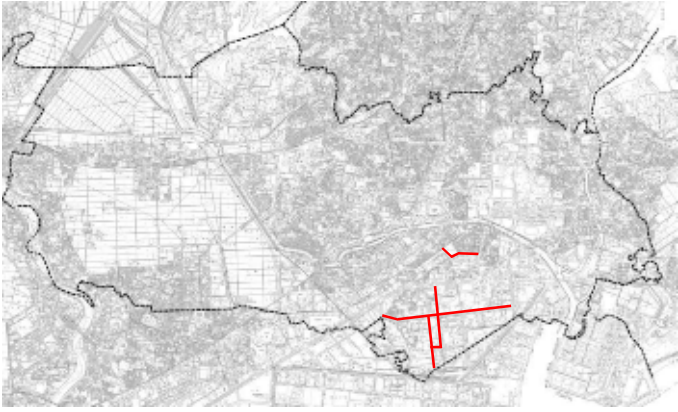


【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-21-1-2 事業名 内水排除困難地域側溝整備事業
事業費 総額 845,693 千円 (内訳: 本工事費 830,545 千円、調査設計費 13,752 千円、 補償費 1,396 千円)
事業期間 平成 24 年度～令和 2 年度
事業目的・事業地区 東日本大震災の地震による地盤沈下及び津波被害を踏まえ、内水排除困難区域（八幡、桜木、栄、明月、宮内、大代地区）のうち、仙台港の背後に形成されている工場地帯（宮内地区）及び桜木・大代地区における排水機能の向上と、衛生的な企業経営環境の再生を目指して、実施される下水道事業による雨水幹線整備にあわせて、市道の側溝整備を行う。 <p style="text-align: center;">位置図</p> 
事業結果 地区名：宮内・桜木地区（側溝延長=約 7 km）  <平成 24 年度～平成 26 年度> ・調査設計 13,752 千円 <平成 31 年度> ・補償費 1,396 千円 <平成 26 年度～令和 2 年度> ・本工事 830,545 千円
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・基幹事業（D-21-1 下水道事業(雨水整備)）により 10 年に 1 回程度発生が想定される大雨に対応するための水路整備を実施し、その水路に導くための側溝を本計画に基づき整備したことにより、住民の安心安全に寄与することができた。  ②コストに関する調査・分析・評価 ・事業費の積算は、基準書等により実施し、多賀城市契約規則等に基づき契約を行い、業者を選定している。

・コストについては比較できる直近の同種他事業が無いため分析は困難であるが、工事費については、基準書等を元に積算し、入札により契約を締結したことから、当該事業費は妥当なものと考えられる。

③事業手法に関する調査・分析・評価

・本事業は、以下のとおり、事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

調査設計	入札手続き・発注・完了	平成24年4月～平成25年3月
補償	完了	—
工事	入札手続き・発注・完了	平成25年4月～平成27年3月

<実際に事業に要した事業期間>

調査設計	入札手続き・発注・完了	平成24年4月～平成27年3月
補償	完了	平成31年4月
工事	入札手続き・発注・完了	平成25年1月～令和2年7月

・本計画地に隣接する事業との調整に時間を要した結果、事業完了が遅れてしまった。

事業担当部局

建設部復興建設課 電話番号：022-368-1141